

## 「石神井川下流の流路変遷 (5)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



(国土地理院航空写真／2019 年／令和元年)

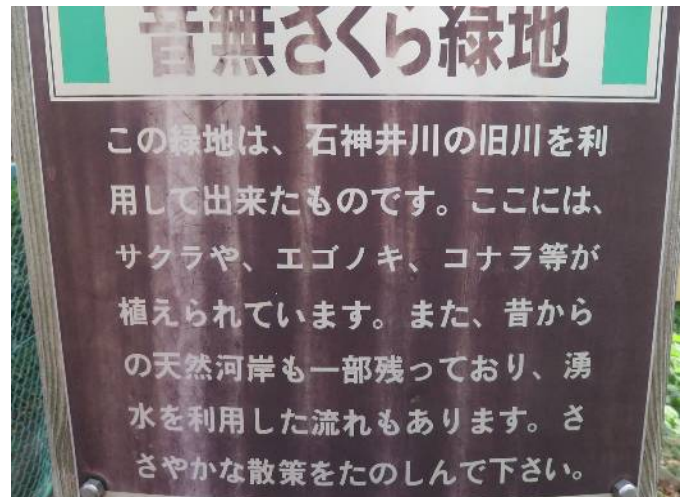
これがほぼ現在の「音無さくら緑地」付近の航空写真です。流路跡（屈曲部）には樹木が茂り、一見この「U字型の森」が河道跡とはわからなくなっています。私もこの航空写真だけを見たら、旧流路とは気づかなかったと思いますが、現在の地形図を見て気づいたというのが本当です。



これが、屈曲部を直線化した現在の石神井川です。人工的な護岸で固められてはいますが、周囲の土地よりも相当に低い場所を流れています。石神井川の最下流部（王子駅付近）は、かつて直進せずに南に向かう流路でした。現在の「谷田川（暗渠）」がその名残です。恐らくその時期にはもっと浅いところを流れていたはずですが、浸食が進んで溪谷状になり、その結果「河川争奪」が起きて、王子駅方面から隅田川に向かって流れるようになったのでしょう。



ここが「音無さくら緑地」の入口です。旧流路の上流側から下流方面を眺めたところです。屈曲部の地形を思わせる、ゆるやかな左カーブが続く遊歩道です。



簡単な説明標もあります。「旧川」という語は初めて聞きました。「天然河岸が残っている」と書いてありますが、これは屈曲部の一番奥の浸食崖のことでしょう。「ささやかな散策」という表現がいいですね。



地図を見ても、旧流路の形状がよくわかります。確かに屈曲部の最奥部が「崖」になっているようです。